

2015年度 地域包括支援センター ネットワーク実践力養成研修

*～*本会主催の本研修は今年度で終了します。是非この機会にご受講ください。*～*

前 期 (2日間)	日 程	2015年9月12日（土）～9月13日（日）
	会 場	全理連ビル 東京都渋谷区代々木1-36-4 TEL: 03-3379-4114 交通: JR山手線・総武線・都営地下鉄大江戸線「代々木」駅北口前
後 期 (2日間)	日 程	2016年3月5日（土）～3月6日（日）
	会 場	（東京都内を予定）
研修内容	4日間の集合研修、事前課題、中間課題の提出 （中間課題は、自らの地域でのネットワーク構築の企画と試行、報告書の作成が課されます）	

～*～* 昨年度の研修受講者の声を一部ご紹介します！ *～*～

●ネットワークを通してソーシャルワーカーが問われていること●

私はこれまで、ネットワークについて、各関係機関の機能を活かす、あるいは縦割りの制度の補完的な機能を持つものと理解していました。しかし、今回の研修に参加して、ネットワークとはソーシャルワークの目的を達成するための機能であることを理解しました。

また、ケースワークとジェネラルソーシャルワークとの違いを踏まえ私たち現場が問われていることは、ネットワークを通して見えてくるすべての事象から課題解決にいたる法則を導き出すこと、そしてその必要性についての説明性を高めることではないかと思いました。

高山 誠さん（神奈川県）

●個から地域へ、つぶやきからネットワークへ●

中間課題がこなせるかどうかが不安で、この研修にはなかなか参加できずにいました。しかし、スクーリング、課題への取り組みを通して、ネットワークとは何かを学び、ネットワーク構築の実際について具体的に感じられました。なぜ自分が利用者や地域の「つぶやき」が気になるのか、その「つぶやき」をどう繋いでいくのかについて、事例による演習や課題の発表を通して、ネットワークができ、それが広がっていくところを学べたことがとても良かったです。今後は、自分が関わっている地域をさらに知り、根拠を持って関わっていくことを通して、地域づくりに活かしていきたいと思っています。

西山 由起さん（岡山県）

●「もう一度受講したい」と思える研修です●

この研修では、ソーシャルワークに関する理論や地域包括支援センターに関する根拠法令等はもちろん、個と地域を一体的に支援する視点、地域のニーズからネットワークを展開する際に重要な組織内の合意形成、さらに地域についての具体的な方法について講師の豊富な実践経験から体験的に学ぶことができました。研修で得た気づき・学びは、地域包括ケア実現に向けた地域ケア会議等の場で役立っています。

加藤 莉絵さん（埼玉県）

～* 市町村職員、社会福祉協議会職員、障害者相談支援専門員 *～
***～* 生活困窮者自立支援相談員等の地域包括ケアに携わる皆様も是非ご参加ください**

主 催 公益社団法人日本社会福祉士会

2015年度 地域包括支援センター ネットワーク実践力養成研修

1. 研修のねらい

地域包括支援センターの主要な業務の一つとして、ネットワーク構築業務があります。地域における生活支援を進めるにあたっては、当事者、家族、地域住民、民生委員、専門職、行政等、地域の関係者とのネットワークを構築することになりますが、その組織化自体に目的があるのではなく、「地域を基盤としたソーシャルワークを展開するためのネットワーク構築・活用」という視点が重要となります。

そこで、日本社会福祉士会では、地域を基盤とするソーシャルワーク実践をおこなうために必要となるネットワーク構築・活用のスキルを習得すること目的に「地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修」を開催します。

2. 日程・会場・研修内容

前期 (2日間)	日程	2015年9月12日(土)～9月13日(日)
	会場	全理連ビル 東京都渋谷区代々木1-36-4 TEL: 03-3379-4114
後期 (2日間)	日程	2016年3月5日(土)～3月6日(日)
	会場	(東京都内を予定)
研修内容	4日間の集合研修、事前課題、中間課題の提出 (中間課題では、自らの地域でのネットワーク構築の企画と試行、報告書の作成が課されます)	

● **研修単位について** ● 本研修は、認定社会福祉士認証・認定機構へ研修認証更新申請中です(研修認証番号: 20120006 / 研修単位: 1 単位 / 科目: 分野専門 / 高齢分野 / ソーシャルワーク機能別科目群 / 地域包括ケア、地域包括支援センター)。審査結果により認証更新されないこともありますのでご了承願います。なお、本会の生涯研修制度の単位は、本研修の全課程を修了することで、新生涯研修制度では「専門課程1単位」、旧生涯研修制度では「共通研修課程15単位」になります。

3. 受講要件: 1) 2) のすべてを満たす方

- 1) カリキュラムの全課程を出席できる方
- 2) 事前課題、中間課題を提出できる方

● 受講にあたって ●

※中間課題には、自らの地域でのネットワーク構築の企画、試行、報告等が含まれます。

※課題が提出されない場合、研修は継続できなくなります。

※課題について、修了評価の基準に達しない場合は、レポートを提出することを可能としますが、それでも修了評価の基準に達しない場合は、研修を修了できないことがあります。

※演習では地域包括支援センター事例を活用します。

4. 対象者: 地域包括支援センター(サブセンター・ブランチ含む)職員、市町村職員、社会福祉協議会職員、障害者相談支援専門員、生活困窮者自立支援相談員等、地域包括ケアに携わる方

5. 定員: 70名

※定員を越えた場合は、本会会員を優先します。

6. 申込期限: 7月31日(金)まで

※申込締切日前でも定員となり次第、締め切れます。

7. 受講費: 社会福祉士会会員: 42,000円

会員以外: 50,000円

※社会福祉士会会員には入会手続中の方も含みます。

※受講費には、全日程の資料代を含みます。食費・宿泊費・旅費は含みません。

8. 宿泊・昼食: 各自手配をお願いします。

9. 懇親会: 9月12日(土) 19:00～

※参加人数により開催しない場合があります。

10. 申込方法: 所定の「受講申込書」に必要事項を記入の上、FAXもしくは郵送にてお申し込みください。

11. 受講可否の通知: 受講可否は8月28日(金)

頃に文書を発送します。合わせて、事前課題、会場案内、受講費の納入方法、キャンセルの扱い等についてもご案内します。なお、受講申込者が少ない場合は、当研修を開催しない場合がありますので、予めご了承ください。

12. 修了要件: 4日間すべてのプログラムに出席し、提出された課題の評価が「可」であること。

13. 主催: 日本社会福祉士会

*** 社会福祉士会への入会ご希望の方は、各都道府県社会福祉士会へお気軽にご連絡ください! ***

2015年度 地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修

研修プログラム(予定)

●事前課題

地域包括支援センター社会福祉士「評価シート」の事前記入（前期1日目に提出）

●前期日程(2日間)：2015年9月12日(土)～13日(日)

※プログラムは変更の可能性があります。

日程	時間(分)		形式	プログラム名	講師予定(敬称略)
1 日目	12:45～13:00	15		オリエンテーション	
	13:00～15:00	120	講義	ソーシャルワーク実践におけるネットワーク構築・活用の意義	土屋幸己（富士宮市地域包括支援センター）
	15:00～15:15	15		休憩	
	15:15～18:30	195	演習 ①	個と地域の一体的アプローチ	塚本銳裕（社会福祉法人長福会 デイパーク大府） 中 恵美（金沢市地域包括支援センターとびうめ）
2 日目	9:00～12:00	180	演習 ②	組織・関係機関のネットワークづくり	中澤 伸（社会福祉法人川崎聖風福祉会） 山本繁樹（立川市南部西ふじみ地域包括支援センター）
	12:00～12:50	50		昼食・休憩	
	12:50～15:50	180	演習 ③	地域ネットワークづくり	梅本政隆（大牟田市役所）
	15:50～16:00	10		休憩	
	16:00～16:50	50	講義	事前課題のフィードバック 中間課題の説明	中澤 伸（社会福祉法人川崎聖風福祉会） 山本繁樹（立川市南部西ふじみ地域包括支援センター）
	16:50～17:00	10		閉会	

●中間課題（前期終了後）

自らの地域でのネットワーク構築の企画、実施（企画シートを事前提出）

●後期日程(2日間)：2016年3月5日(土)～3月6日(日)

※プログラムは変更の可能性があります。

日程	時間(分)		形式	プログラム名	講師予定(敬称略)
1 日目	12:45～13:00	15		オリエンテーション	
	13:00～18:00	300	演習 ④	中間課題の報告会	田村満子((有)たむらソーシャルネット)
2 日目	9:00～12:30	210	講義	総括講義	岩間伸之（大阪市立大学大学院）
			演習 ⑤	総合演習	岩間伸之（大阪市立大学大学院） 高山由美子（ルーテル学院大学）
	12:30～12:45	15		閉会	

問い合わせ・申込先

公益社団法人日本社会福祉士会 事務局 企画グループ（担当：繩田）

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 カタオカビル2階

TEL：03-3355-6541（月～金曜日 9:30～17:30）

FAX：03-3355-6543 E-mail：nawata@jacsu.or.jp